

第3回 株式会社サインポスト倫理委員会 議事録

日時 平成18年6月19日(月) 15:00~17:00
場所 ホテルラフォーレ新大阪 19階 会議室「カンタベリー」
出席者 委員長 鎌田 武信
副委員長 小杉 眞司
委員 水野 武夫
池上 博司
広野 光子
山崎 義光(社内委員)
村上 竜太(社内委員)
事務局 上田 友紀

1. 報告事項

(1) 事業進捗について

村上委員(当社取締役オーダーメイド医療事業部事業部長)より、糖尿病診療プログラム(遺伝子検査及びサインポストDM)の事業進捗について、患者向け媒体(DVD、ポスター、パンフレット)完成、サービス概要、試験運用状況が報告された。

(2) 同意書について

村上委員より、糖尿病診療プログラム(遺伝子検査及びサインポストDM)の同意書について、試験運用を経て修正を行った旨が報告された。

(3) エビデンスに関する経過報告

山崎委員(当社取締役CTO)より、エビデンスに関する経過報告があった。

2. 審議事項

「糖尿病診療プログラム(遺伝子検査及びサインポストDM)のサービス開始の件」
村上委員より、糖尿病診療プログラム(遺伝子検査及びサインポストDM)のサービス開始の件が提案され、質疑応答の結果、本議案は満場一致で承認された。
本議案の採決には、村上委員は提案者であるため参加しなかった。

なお、主な質疑応答は以下の通りである。

【鎌田委員長】DVDの説明は速いので、一度見ただけでは理解できない患者もいるのではないかと。

【村上委員】待合室などで患者に繰り返し見ていただけるよう、協力医療機関をお願いする。

【小杉副委員長】 予測データは情報量が多い。糖尿病患者は継続して来院するので、何回かに分けて説明すると理解が深まるのではないか。それから遺伝に関する説明が必要であれば、臨床遺伝専門医を紹介するとよいのではないか。

【山崎委員】 研究段階では何回かに分けて説明している。その方が患者もよく理解してくれる。

【村上委員】 協力医療機関にも、そうした活用法を提案していきたい。

【水野委員】 万が一、遺伝子情報が漏れたらどうなるのか。

【村上委員】 遺伝子情報は、採血の段階から匿名化を行い、個人が特定されない措置を講じている。

【池上委員】 医療機関と患者に対して、サインポストはどのように関わるのか。

【村上委員】 協力医療機関がサインポストのシステムを継続利用することにより、患者に対して定期的に最新の予測データを提供することができる。サインポストは協力医療機関の糖尿病診療をサポートする。

【池上委員】 予測データでリスクが低い場合に患者の気持ちが緩んでしまうと、医師としては困る。

【村上委員】 リスクが低い場合は生活習慣の現状維持が必要なことを当社から医師にしっかり説明し、医師を通じて患者にも理解してもらおう。

【広野委員】 患者としては、保険適用されると費用負担の面で有難い。

【山崎委員】 将来的に、保険適用は目指していきたい。

以上

録 田 武 信

